

# ジェイアールバス東北本部

第13号

2022年11月7日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内

NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983

発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

## 申2号「2022年度冬季ダイヤに関する申し入れ」について団体交渉を行う！①

バス東北本部は、11月7日申2号「2022年度冬季ダイヤに関する申し入れ」について団体交渉を行いました。主な議論経過は以下の通りです。

1. 2022年4月1日から2022年9月30日間の乗務員制度及び協約上の問題点を明らかにした上で労働基準法を遵守し、問題が発生している職場については要員を含めた対策を講ずること。

(組合) これまでの交渉で39時間30分の確保について議論し、徐々に改善されてきているが勤務変更が生じた際に39時間30分が確保されていないと声が上がっている。要員的な問題もあると思うが会社として問題意識を持っているのか。

(会社) 39時間30分確保については指導している。また超過勤務については、30時間を超えた時点で現場から本社へ報告する体制をとっており、協約上の問題はなかった。

2. 2021年度冬季ダイヤ改正における検証事項と内容について明らかにすること。

(組合) 冬期間を迎えるにあたり、列車代行輸送についての路線や各駅構内の除排雪の対応を明らかにすること。また高速便を含めた運休判断についての考えを明らかにすること。

(会社) 冬期間の新庄地区は降雪量が多い地域であるため、しっかりと除排雪するので問題はないという認識である。また、除雪しきれないぐらいの降雪量であればバスは運行することが出来ないため運休という措置を取らなければならないと考える。JR磐越西線に関しては、仙台支社と打ち合わせをして対応する。運休判断については列車との乗り継ぎも関係するため仙台支社の判断である。当社が運行するダイヤについては、運行判断は対策本部を設置して判断することになる。

3. 各職場におけるダイヤの経路等の見直し及び新設については、職場の意見を最大限取り入れること。また、可能な限り事前提案とすること。

(組合) 盛岡支店の白樺号について、盛岡バスセンター乗り入れに伴い経路変更となったが運行路線内に狭い箇所があり、6型車両では無理があるとの声が職場から多くあがっている。また、青森支店の空港便の運賃改定についても利用客が減るのではないかと疑問の声が寄せられている。こうした職場の声を把握しているのか明らかにすること。

(会社) 白樺号については、盛岡支店と試走をした上で現場とすり合わせて決めたものであり、職場の意見を聞いてのものである。経路変更により集客が見込まれるための施策である。十和田湖線の運賃改定については、青森空港までの有料道路料金の経費と他社の運賃を考慮し改定したものであり、9月～10月間において運賃改定により利用客も減っていない。今後も今まで通り事前に現場へ周知していく。



～No.14に続く～